2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52531	施設実習指導 I Instruction for Practical Training I (Welfare Facilities)	谷村和秀 山 本辰典		専門	1	選択	1年・2年後 期・前期

科目の概要

施設実習Iを行うに当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、福祉施設へ行く前の事前指導と実習後の個別指導などから構成されている。

学修内容	到達目標
① 保育実習及び施設実習 I の意義と目的 ② 施設実習を行う種別の概要を学ぶ ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、 プライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法を学ぶ ⑤ 実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標	① 保育実習及び施設実習 I の意義と目的を説明できる。② 実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について実践する。④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に実践できる。⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。

学生に発揮させる社会人基 礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができ る。
前に踏み出す力	働きかけ力	
	実行力	一度始めたことは最後までやり切ることができる。
	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができ る。
考え抜 く力	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができ る。
	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
チーム	柔軟性	
で働く 力	情況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることがで きる。 授業を欠席した際に、授業をフォローするレポートが作成できる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 「MINERVAはじめて学ぶ保育11 施設実習」ミネルヴァ書房 2,200円+税

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:子ども家庭福祉、社会的養護 I、社会的養護 I、保育の心理学、保育実習 I、施設実習 I 資格との関連:保育士

学修上の助言	受講生とのルール
・ 今までに学んだことや実習で体験したことを振り返りながら、実習に臨む。	・実習を行うにあたって、実習先の希望等、多くの書類の 提出を求めるがその際の提出期限は厳守する。 ・実習に先立って行う事前指導をきちんと受けない学生 は、この科目が受験できないことになるので注意する。

【評価方法】

評価対象	17.14	評価方法	評価の 割合		到達	目標	Ę	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
				1				
	学	: 筆記(レポー : ト含む)・実		2				
	学期末試		0	3				
	試験	技・口頭試験		4				
				(5)				
				1				実習記録作成にあたって必要な漢字のテスト
				2				
		小テスト	20	3				
				4	1			
学修成果				(5)				
成果		レポート		1	1			①施設種別・障がいに関する調べ学習(10点×3回=30点) ②施設職員による実習の心得を聞いての感想(10点)
				2	1			③実習で学びたいことの提出 (10点) ④実習振り返りレポート (20点)
			70	3	1			※ 決められた期限内に提出しないと評価しない
	-			4	✓			
	平常評価			(5)	1			
	評価			1				
		成果発表(プ		2				
		レゼンテー ション・作品	0	3				
		制作等)		4				
				(5)				
				1	✓			(主体性) 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。
学		公人(甘7 株七		2	1			(味短光ガガ) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (規復力)
学修行		社会人基礎力 (学修態度)	10	3	✓			物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) - 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力)
動				4	1			(傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる
				(5)	✓			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	総1 言	合評価 割合	100					

【到達目標の基準】

【到達目標の基準】	
到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 ①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価90点以上はS(秀)、89~80点をA(優)とする	到達レベルB(良)及びC(可)の基準 ①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価79~70点はB(良)、69~60点はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	保育実習及び施設実習 Iの概要を学ぶ (担当:谷村)	講義	・授業の流れについて 理解できる ・施設実習の位置づけ について理解できる ・実習方法を理解できる	(予習) シラバスを読む	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性
2	実習施設 (養護系施設) 及び専門職を学ぶ (担当:谷村)	演習 小テスト (漢字)	・実習を行う福祉施設 の利用者について、理 解する	(予習)・養護系施設について調べる・専門職について調べる	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
3	・実習施設 (障がい児 者施設) を学ぶ (担当: 谷村)	演習 小テスト (漢字)	・実習を行う福祉施設 (障がい児・者)の利 用者について、理解する	(予習) ・障がい系施設につい て調べる	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力力性
4	障がいのある人について学ぶ。 (担当:谷村)	演習 小テスト(漢字)	障がいのある人の生活 のしづらさを理解す る。	(予習) ・障がいについて調べ る	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
5	・施設職員による実習の心得を聞き、実習課題を考える (ゲストスピーカー)	講義	・児童福祉施設で実習 を行うにあたっての心 得を理解する	(予習) 施設職員に質問を考 えておく (復習) 施設職員による実習 の心得をまとめる。	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力性
6	施設実習 I の実習先を 選定する。 (担当:谷村)	演習	・施設実習 I の実習施設を選べる。	(復習) 希望の実習施設につい て調べる。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力性
7	生活支援(食生活、住 生活・衣生活)ついて 学ぶ (担当:谷村)	講義	・施設での利用者の生活における支援を理解する ① 食生活 ② 住環境の整備 ③ 衣生活	(予習) ① 食の意味を調べる ② 掃除の方法を調べ る ③ 洗濯・アイロンの 方法を調べる	180	主実課見創発傾規性力発 力力力性
8	学習支援について学ぶ (担当:谷村)	講義・演習	・施設での利用者の生活における支援を理解する ① 学習支援	(予習) ①学習の目的を調べる	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力力性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	実習連絡票・出席簿・ 誓約書などの実習書類 を作成する (担当:谷村)	演習	・実習先を知り、グループのメンバーを確認する ・リーダー決め、連絡網を作成する ・実習に必要な書類を作成する ・実習費納入について理解する	(予習) ・実習連絡票に貼る写 真を用意する	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
10	・事前指導について ・事前指導報告書の地 図の作成 ・細菌検査についての 説明 (担当:谷村)	演習	・実習記録ノートの配 布 インターネットなど を使用した設までの地図 を作成する ・細菌検査について理 解する	(予習) ・配属さ方と実確認 での通う方法を確認 ・事前オリエテ行なる ・事がで、てでででででででででででででででででででででででででででいる。 ・変認にある。 ・変認にある。 ・変認にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にある。 ・変にないできる。 ・変にないでを、 ・変にないでを、 ・変にないでを、 ・変にないでを、 ・変にないないでを、 ・変にないでを、 ・ ・ ・ を、 を、 ・ を、 ・ を、 ・ を、 ・ を、 ・ ・ を、 ・ を、 ・ を、 ・ を ・ を	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
11	・実習の目標や記録の 書き方を学ぶ (担当:谷村)	演習	・実習の目標及び記録の書き方を理解できる	(予習) ・配属された施設について、調べる	180	主実課見創発傾規 力力力力性
12	・現地オリエンテー ションを受ける (担当:谷村)	演習	・グループごとに、実習先の施設に訪問し、 施設の説明、実習における諸注意などを理解する	(予習) 事前指導を受けるに あたって、確認するこ とを確認する	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性
13	・注意事項の説明を受ける (直前指導) (担当:谷村)	演習	・実習における注意事 項を理解する ・所感「実習を終え て」の配布	(予習) 巡回担当教員と実習の 打ち合わせをしておく	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律 力力力力性
14	実習反省会に参加し、 実習を振り返る(グ ループ) (担当:谷村)	演習	・巡回担当教員ごとに 集まり、反省会を行う (全教員担当)	(復習) 行った実習内容を整理 しておく	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性
15	施設実習 I を振り返る (担当:谷村)	演習 施設実習 I について、 フィードバック	・施設実習 I の学べた点・課題が挙げられる。	(復習) 施設実習 I で作成した 記録を読み返す。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力力性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52532	施設実習指導II Instruction for Practical Training II (Welfare Facilities)	谷村和秀		専門	1	選択	2後期

科目の概要

施設実習Ⅱを行うに当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、福祉施設へ行く前の事前指導と実習後の個別指導などから構成されている。

到達目標

① 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的

②実3 善④ 実習 実力 電子	を培う。 『の観察、記録及び自 いて実践や事例を通 『士の専門性と職業倫	ドやその関連性を踏まえ、保育 日記評価等を踏まえた保育の改して学ぶ。 同理について学ぶ 「、実習の総括と自己評価を行	① 保育美智の意義と目的を埋解し、保育について総合的に学ぶ。 ② 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。 ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して把握する ④ 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。				
学生に登め	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社	社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることがる。					
前に踏 み出す 力	働きかけ力						
	実行力	一度始めたことは最後までやり切ることができる。					
	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基- る。	づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができ				
考え抜く力	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に持る。	促われることなくいろいろな方向から考えることができ				
	発信力	整理した内容を、的確な文章で	表現できる。				
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の	の意見を述べることができる。				
チーム	柔軟性						
で働く 力	情況把握力						

無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行す

テキスト及び参考文献

規律性

ストレスコントロール力

テキスト:「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 「保育士をめざすための児童福祉施設実習」

学修内容

① 保育実習及び施設実習IIの意義と目的
② 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:子ども家庭福祉、社会的養護 I、社会的養護 II、子どもの心理学、保育実習 I、施設実習 1 資格との関連:保育士

るようルールを守ることができる。

学修上の助言	受講生とのルール
・ 今までに学んだことや実習で体験したことを振り返りながら、実習に臨む。	・実習を行うにあたって、実習先の希望等、多くの書類の 提出を求めるがその際の提出期限は厳守する。 ・実習に先立って行う事前指導をきちんと受けない学生 は、この科目が受験できないことになるので注意する。

【評価方法】

評価 対象		評価方法	評価の 割合	1	到達	目標	Į	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
				1				
	学			2				
	学期末試	筆記(レポート含む)・実	0	3				
	試験	技・口頭試験		4				
				(5)				
				1				実習記録作成にあたって必要な漢字のテスト
				2				
		小テスト	20	3				
				4	1			
学修				(5)				
学修成果				1	1			①施設種別・障がいに関する調べ学習(10点×3回=30点) ②施設職員による実習の心得を聞いての感想(10点)
		レポート	70	2	1			③ 実習で学びたいことの提出 (10点) ③ 実習で学びたいことの提出 (10点) ④ 実習振り返りレポート (20点)
				3	1			④ 美賀振り返りレポート (20点) ※ 決められた期限内に提出しないと評価しない
				4	1			
	平 常			(5)	1			
	平常評価			1				
	Imi	成果発表(プ		2				
		レゼンテー ション・作品	0	3				
		制作等)		4				
				(5)				
				1	1			(主体性) 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 度始めたことは最後までやり切ることができたか。
学				2	1			(歌紀宛兄兄) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。
学修行		社会人基礎力 (学修態度)	10	3	1			(想像力) ・物本と考えら時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) ・予智で沸葉での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾腹力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・大感した際、授業内のフォローができる。
動				4	1			数員で予生の思えを確認し、さらに自力の思えを述べることができる。 (規則性) ・欠酷した際、授業内のフォローができる。 ・授業期始から15分以内に入室した者は支廉扱いとする。 ・授業期始から15分を超えて入室した者は女廉扱いとする。 ※但し、公共交通機関の受性による差別については差別及び欠席扱いしない。 ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
				(5)	1			※直し、公共交通機関の受性による種別への取り、このがひた席扱いしない。 (選延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居暇りで注意されたら減点とする。
	総 ₁	合評価 割合	100					

【到達日煙の其准】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 ①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、ブライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価90点以上はS(秀)、89~80点をA(優)とする ②達習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価79~70点はB(良)、69~60点はC(可)とする。	【到達目標の基準】	
②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ⑥総合評価90点以上はS(秀)、89~80点をA(優)とする	到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
	①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。 ②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、 プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容に ついて具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。	①保育実習及び施設実習 I の意義と目的を理解する。②実習の実施施設の概要を理解し、自らの課題を明確にする。③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。⑥総合評価79~70点はB(良)、69~60点はC(可)とす

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	施設実習Ⅱの概要を学 ぶ	講義	・授業の流れについて 理解できる ・施設実習の位置づけ について理解できる ・実習方法を理解でき	(予習) シラバスを読む	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力力性
2	実習施設 (養護系施 設) 及び専門職を学ぶ	演習 小テスト(漢字)	・実習を行う福祉施設の利用者について、理解する	(予習)・養護系施設について調べる・専門職について調べる	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
3	・実習施設(障がい児 者施設)を学ぶ	演習 小テスト(漢字)	・実習を行う福祉施設 (障がい児・者)の利 用者について、理解す る	(予習) ・障がい系施設につい て調べる	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
4	障がいのある人につい て学ぶ。	演習 小テスト(漢字)	障がいのある人の生活 のしづらさを理解す る。	(予習) ・障がいについて調べ る	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
5	・施設職員による実習 の心得を聞き、実習課 題を考える (ゲストスピーカー)	講義	・児童福祉施設で実習 を行うにあたっての心 得を理解する	(予習) 施設職員に質問を考 えておく (復習) 施設職員による実習 の心得をまとめる。	180	主実課見創発傾規体行題力造信聴律性力発 力力力力性
6	施設実習Iの実習先を 選定する。	演習	・施設実習 I の実習施設を選べる。	(復習) 希望の実習施設につい て調べる。	180	主実課見創発傾規性力発 力力力性
7	生活支援(食生活、住 生活・衣生活)ついて 学ぶ	講義	・施設での利用者の生活における支援を理解する① 食生活② 住環境の整備③ 衣生活	(予習) ① 食の意味を調べる ② 掃除の方法を調べ る ③ 洗濯・アイロンの 方法を調べる	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 力力力力性
8	学習支援について学ぶ	講義・演習	・施設での利用者の生活における支援を理解する ① 学習支援	(予習) ①学習の目的を調べる	180	主実課見別 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	実習連絡票・出席簿・ 誓約書などの実習書類 を作成する	演習	・実習先を知り、グループのメンバーを確認する ・リーダー決め、連絡網を作成する ・実習に必要な書類を 作成する ・実習費納入について 理解する	(予習) ・実習連絡票に貼る写 真を用意する	180	主実課見創発傾規 かりかん カカカカ かり カカカカカ カカカカ カカカカ カカカカ かり かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいい かんしゅう かんしゅう はいい かんしゅう はいい かんしゅう はいい かんしゅう はいい かんしゅう はいい かんしゅう はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいい
10	・事前指導について ・事前指導報告書の地 図の作成 ・細菌検査についての 説明	演習	・実習記録ノートの配布・インターネットなどを使用して、最寄り地図を作成する・細菌検査について理解する	(予習) ・配属さ方と実習にます での通う方法を確認 ・事前オリエンテ行う を事前オリエと習を ・事がで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	180	主実課見創発傾規 力力力力性
11	・実習の目標や記録の書き方を学ぶ	演習	・実習の目標及び記録の書き方を理解できる	(予習) ・配属された施設について、調べる	180	主実課見創発傾規 力力力力性
12	・現地オリエンテーションを受ける	演習	・グループごとに、実習先の施設に訪問し、 施設の説明、実習における諸注意などを理解する	(予習) 事前指導を受けるに あたって、確認するこ とを確認する	180	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 力力力力性
13	・注意事項の説明を受ける (直前指導)	演習	・実習における注意事 項を理解する ・所感「実習を終え て」の配布	(予習) 巡回担当教員と実習の 打ち合わせをしておく	180	主実課見創発傾規性力発 力力力性
14	実習反省会に参加し、 実習を振り返る (グ ループ)	演習	・巡回担当教員ごとに 集まり、反省会を行う (全教員担当)	(復習) 行った実習内容を整理 しておく	180	主実課見創発傾規 力力力力性
15	施設実習Ⅱを振り返る	演習 施設実習Ⅱについて、 フィードバック	・施設実習Ⅱの学べた 点・課題が挙げられ る。	(復習) 施設実習Ⅱで作成した 記録を読み返す。	180	主実課見創発傾規 性力発 力力力性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力